

性感染症に関する特定感染症予防指針の改定（H30.1.18）

性感染症に関する特定感染症予防指針

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成十年法律第百十四号）第十一條第一項の規定に基づき、性感染症に関する特定感染症予防指針（平成十二年厚生省告示第十五号）の一部を次のように改正する。

平成三十年一月十八日
厚生労働省告示第十号
厚生労働大臣 加藤 勝信

出典：厚生労働省、性感染症に関する特定感染症予防指針，
平成30年1月18日
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000186685.pdf>

性感染症に関する特定感染症予防指針改正のポイント

資料2

性感染症（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第6条第6項に規定する性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症をいう。）は、若年層における発生の割合が高いことや梅毒報告数の増加が指摘されている。こうした状況を踏まえ、重点的に取り組む新たな対策を中心に、社会全体で総合的な性感染症対策を実施していくため、本指針を改正する。

○ 効果的な普及啓発

- 国と都道府県等が協力して、性感染症予防の普及啓発に関して社会の理解を後押しする。
- 教育を行う者がその重要性を認識するために、性感染症から自分の身体を守るための情報を正しく理解することが必要である。
- 個人個人においてどのようなタイミングで検査が必要なのか、様々な機会を通じて若年層も含め広く国民に啓発する。

○ 現在の国内発生動向

- 全数把握疾患である梅毒については、全体の報告数のうち多数を占める男性の増加とともに、女性の報告数と報告数全体に占める女性の報告数の割合の増加も指摘されていることを踏まえ、発生動向の多面的な把握のため、疫学研究を強化する。

○ 医療の質の向上

- 標準的な診断や治療の指針等について積極的な情報提供を行い、医療従事者に対する普及啓発を図る。

○ 検査や治療等に関する研究開発の推進

- 薬剤耐性を持つ病原体による性感染症に対する治療法等に係る研究開発を推進する。
- 海外で使用されている治療薬を国内に導入していくなど、海外との格差を是正する。

※エイズ・性感染症に関する小委員会を4回実施、資料等は下記URLから

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei.html?tid=403928>

出典：第5回厚生科学審議会感染症部会エイズ・性感染症に関する小委員会
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203820.html>

岡山県の取り組み

梅毒対策



梅毒について知りたい

- ・梅毒ってどんな病気？
- ・治療できるの？
- ・予防するには？



検査について知りたい 検査を受けたい



梅毒対策

印刷ページ表示 ページ番号：0822882 2023年4月28日更新/健康推進課

ツイート いいね! 119 シェアする LINEで送る

梅毒が急増しています！

バイどんによる
YouTubeでの普及啓発

出典：岡山県ホームページ（梅毒対策）
<https://www.pref.okayama.jp/site/syphilis/>



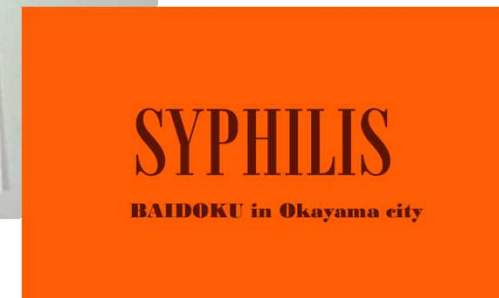
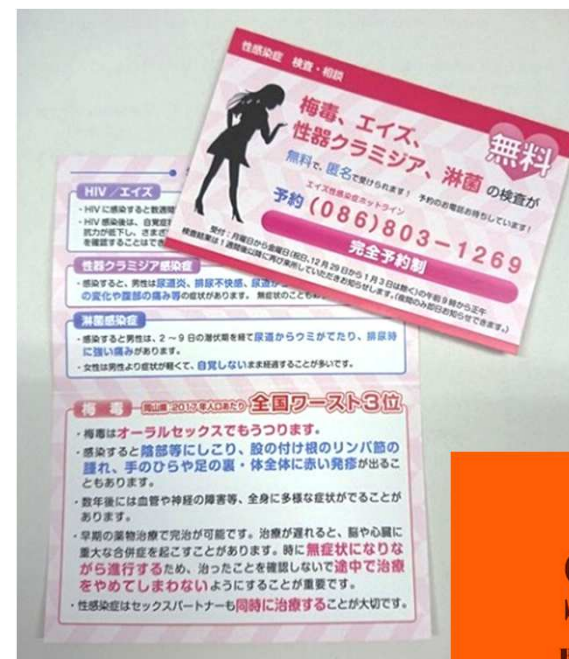
岡山市の取り組み

啓発カードを作成
(無料検査の案内、梅毒などSTDの情報)

梅毒に関する情報提供資料も同封

市役所、支所、保健センター等窓口や
医療機関（産婦人科、泌尿器科等）、
専修学校、大学、発展場等へ配布

梅毒患者のパートナーへの受診勧奨
感染リスクのある人への検査勧奨 などに使用



梅毒 4年連続全国ワースト3位 (岡山県の人口当たり報告数)

- ・陰部等にしこり
- ・鼠径部にリンパ節の腫れ
- ・痛みがない
- ・手のひらや足の裏、体全体に赤い発疹
- ・血管や神経の障害など
- ・症状が消えた = 治ったではない

・オーラルセックスでも感染します。性行為の際にはコンドームを着用しましょう。

早期発見・早期治療が大切です。検査は保健所もしくは、医療機関（泌尿器科・産婦人科・皮膚科など）で受けることができます。
岡山市ホットライン ☎(086)803-1269 検査は完全予約制(無料・匿名)
月曜日から金曜日(土日祝日、12月29日から1月3日は除く)の午前9時から正午